

公述人 2 (会場①国土交通省関東地方整備局常陸河川国道事務所)

霞ヶ浦導水事業における

桜川・千波湖への先行実験導水のお願い

千波湖は多くの観光客が訪れる水戸のシンボルであり、市民の憩いの場でもあります。

その千波湖では、毎年5月から11月の間、アオコが発生し水辺景観の悪化や親水性が損なわれ、悪臭に悩まされることもあり、更なる観光誘客や賑わいづくりに利活用することが出来ない状況です。

この時期のアオコを無くし、キレイになった千波湖で、子供たちの遊びのスペースづくりや湖上フェスティバルなど、もっと様々なことを積極的に実践したいと多くの市民が願っています。

霞ヶ浦導水事業における桜川・千波湖への導水事業は、水質浄化やこのアオコ対策に極めて高い効果が得られるものと期待しております。

アオコの無い桜川・千波湖を早期実現させるため、桜川・千波湖への導水を先行して運用していただくよう要望します。

また、先行して実験導水することで、霞ヶ浦導水事業における様々な課題の検証にも役立てていただけないかとも考えています。

以上